

議員報酬年額 65万4000円 アップ



田中よしゆき

議会報告 後援会ニュース

2018年12月号 No.40

編集発行人 嘉麻市議会議員 田中 義幸

- 1面 議会改革・高校生議会
- 2面 議案審議
- 3面 一般質問・請願・意見書
- 4面 公共施設見直し計画

この議会報告書は政務活動費を一切使っていないません。ご希望の方はご連絡ください。優先配布いたします。(無料)



議案審議

2018年12月18日採決が行われ、議員報酬年額65万4360円(月額4万1千円)増額が賛成多数で可決された。報酬等審議会(田淵千恵子委員長)より、定数が18名から16名に減って予算が確保されたから、増額が妥当という答申が出されていた。2019年5月1日から実施。

なお、市長等給与は、カット分を現行に戻すよう答申されていたが、行財政改革の関係から32年末まで凍結する議案は可決した。

- 賛成議員** 廣方悟、廣瀬公彦、出水貴之、新井聖次、田上孝樹、岩永利勝、永水民雄、中村春夫、田中日本明、北富敬三、坂口政義
- 反対議員** 石原浩二、中嶋廣東、中嶋時夫、田中義幸、新井高尾
- 反対討論** 田中義幸、中嶋廣東、中嶋時夫、新井高尾
- 賛成討論** 廣瀬公彦

賛成12 反対5で可決 市長等給与は凍結

義幸討論

議員定数を18から16に削減したのは行財政改革ではなかったか。浮いた財源で報酬アップするのは、市民を欺く行為で、到底認められない。政務活動費年額24万円、日当年額約9万円で合計33万円を引いても32万円4千円の増額になり、行財政改革にはならない。一全て敬称略

参考資料

		議長	副議長	議員	政務活動費 年額24万円 日当 1日1500円 × 年間60日 =9万円
月額	現行	391,000	348,000	329,000	
	改定	432,000	389,000	370,000	
年額	現行	6,240,360	5,554,080	5,250,840	
	改定	6,894,720	6,208,440	5,905,200	

政務活動費廃止

政務活動費(年間24万円)委員会日当(1日1500円)の廃止案が、委員会提出議案として出され全会一致で可決した。



義幸討論

政務活動費は、使途基準があいまいだ。市民の批判が多い制度で、8年間廃止を訴えてきた。今回は、議員報酬アップの交換条件(隠れ蓑)として政務活動費と日当の廃止を提案している。本来政務活動費と報酬は切り離して考えるべきであり、胸中複雑である。

コラム 委員会提出議案とは、議会側が出す議案。

学生目線で行政を質す 高校生議会

志耕館生徒12名、城山校生徒4名が一般質問

12月19日 県立稲築志耕館 高校生徒25名と県立嘉穂総合高校嘉麻市立大隈城山校生徒15名(傍聴者含む)による高校生議会が開催された。

議長は生徒2名が交代で務め、稲築志耕館生徒12名、城山校生徒4名が質問通告に従い一般質問をした。

持ち時間は質問・回答を含めそれぞれ10分間。



主な質問通告内容

- 1番目 大隈城山校生徒2名
 - ・ 日祭りの市バス運行
 - ・ エアコン設置
 - 2番目 稲築志耕館校生徒2名
 - ・ スケートボード場と温泉施設の建設
 - 3番目 大隈城山校生徒1名
 - ・ 大隈小学校体育館存続
 - ・ 企業誘致
 - 4番目 稲築志耕館生徒2名
 - ・ 子ども食堂
 - 5番目 稲築志耕館生徒2名
 - ・ 海外留学制度
 - 6番目 稲築志耕館生徒2名
 - ・ 通学路の安全対策
 - 7番目 稲築志耕館生徒2名
 - ・ 企業見学ツアー
 - 8番目 稲築志耕館生徒2名
 - ・ 市バス最終時間延長
- 執行部のつぶやき
学生目線の直球勝負で、良い質問が多かった。



議案審議

一般会計補正予算 7号

賛成多数可決

区有財産の売り払い

381万円

口春のため池をソーラー事業者に売却するが、部落有財産協定により、当該区へ売却相当額を支払う。

荒廃した森林の整備

1459万4千円

荒廃した森林の調査と間伐を行う。県100%事業。

口春分団の車庫建設

114万4千円

口春第2分団に軽バン車両が配備されたので、車庫を作る。

防災マップ作成

662万円

国・県が新たに災害発生予測箇所を見直したため、防災マップを作り直す。

総合バスステーション

719万5千円

牛隈地区のバスステーションを建設するために、設計

管理業務を委託する。なお、国道に接している関係で県土事務所や嘉麻署の指導もあり、完成時期は2019年10月頃にずれ込む予想。

災害ゴミ処理

115万円

本年7月の豪雨災害で、被災した家屋の災害ゴミ処理に対し、補助金を交付する。桑野地区・嘉穂才田地区各1件分。

集会所補修

270万円

嘉穂地区 集、中益、江星、芥田、杉坂各集会所と教育集会所。

配食サービス

188万5千円

買ったたきで国の監査が入った件で、過年度分を社会福祉協議会に支払う。



絵 熊谷レン

保育所職員交流

56万6千円

嘉穂保育所の幼児に顔慣らしをするため、民営化先の保育士を事前に派遣する予算。

生活保護

108万円

受給違反者に対し、返還金の一部を法第77条2により徴収可能になった。

農林振興

・トラクター・ロータリー 導入補助金1名分 295万5千円

・被災した施設・機械の修理助成10名分 3318万1千円

・廃業する3名の農地を、中間管理機構に貸付る 42万4千円

・地域の農地を中間管理機構に貸付る 207万7千円

・9名の畜産家の疫病対策 13万2千円

雇用創造事業

1440万3千円

雇用拡大計画を議論する協議会に補助金を出す。

被災企業への支援

12万5千円

融資を受けた被災中小企業へ、利子補給する。

転入者応援交付金

469万円

本年度は、47世帯(うち45世帯が市外転入)に交付しているが、これを76世帯分増やす予算。

提言 不公平感を持つ市内の若者もいる。他の自治体が転出する可能性がある。



絵 熊谷レン

大隈地区用地購入 106万円

大隈川の治水対策のため用地を購入する。嘉穂中益

災害復旧

728万円

枝坂・桜ヶ丘線道路が被災したため、排水管敷設工事をする補償金等

一般会計補正予算 8号

賛成多数可決

土地は無償貸し付け、建物(1711万8千円相当)は無償譲渡。

指定管理

2019年4月1日から3年間サルビアパークの指定管理者として、公益財団法人嘉麻市文化スポーツ振興公社を、温水プールスイミングプラザなつきの指定管理者として、福岡カホスイミングスクールを指名する。

募集内容 両施設とも公募。それぞれ1社のみの応募。

給与改定

810万円

人事院勧告に基づく給与改定。一部本年4月適用。効果額はどうなる。

答 平均0.5%のアップで若年者を優遇している。一全会一致可決

選挙ビラ公費負担

公職選挙法の改正で選挙運動用のビラ作成費用を認める議案。

1枚7円51銭。A4サイズ4000枚。選挙期間中の発行で、事前審査が必要。

一全会一致可決

嘉穂保育所民営化

嘉穂保育所は、2019年4月1日から社会福祉法人「夢創」が経営する。

環境施設組合

ふくおか県央環境施設組合は、現在飯塚市、嘉麻市と小竹町で構成されているが、これに桂川町が加わるため、いったん解散し新たに組合を作り直す。

一賛成多数可決



絵 熊谷レン

よしゆきの一般質問

太陽光発電施設建設規制条例

太陽光発電事業について、環境省は、平成30年9月に環境影響評価の方針を出した。特に地元住民への説明不足が課題としている。福岡市、由布市では条例で規制をしている。

赤間市長 環境面を配慮し、地域住民との共生が図られるよう努めてもらいたい。条例制定は、研究する。

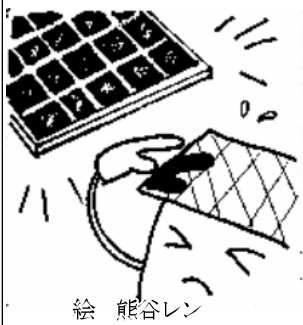
覚せい剤使用と啓発

質 嘉穂中学校音楽講師が覚醒剤で逮捕された経緯を問う。

大森学校教育課参事 飯塚署に逮捕され容疑を認めているとのことで、懲戒解雇した。2018年7月24日に起訴され、9月18日に懲役1年6ヵ月執行猶予3年の有罪判決が確定している。

質 生徒への影響はどうか。
教育課参事 本人と接見し確認したが、子どもたちへの関与はなかった。

原岡環境課長 国は平成29年3月にFIT法を改正し事業計画策定ガイドラインを定めた。電気事業者は適切な事業運営をしなければならない。規制については、国のガイドラインを検証し協議する。



絵 熊谷レン

教育課参事 7月10日に全校集会をし、アンケート調査したが、カウンセリングが必要な生徒はいなかった。
質 使用者責任はどうする。
教育課参事 同校校長に口



絵 熊谷レン

頭注意、教育委員会では再発防止の検証をする。

質 市長等の考えを問う。

木本教育長 薬物乱用に対する教育と指導の充実を図る。

赤間市長 教育委員会の取組を支援していく。

道路中央線から2m セットバック

質 鴨生地区の消防格納庫から入った道は狭隘だ。平成3年に中央線から2m下がった家屋が2軒あるが、他はできていない。消防格納庫のフェンスも違反状態だ。緊急車両が入れず、道路を管理する市はどうする。
福田総合調整監 セットバックは、権限がある県に要請する。消防格納庫は、防災対策課と協議し善処する。

他の質問 「上西郷の用水路、下牛隈の道路・橋脚の改善」「職員の労働管理について」と「交付金問題」

請願書・意見書

山田いこいの家「白雲荘」の存続に関する請願書

一閉会中継続審査

主要農作物種子法にかわる福岡県独自の条例制定を求める意見書

要旨 2018年4月1日付で国会において種子法が廃止された。福岡県に種子法に代わる独自条例制定を求めるもの。

一全会一致採択
認知症施策の推進を求める意見書

国に対して認知症基本法制定、支援体制・就労継続、社会参加ができる環境整備そしてリハビリ介護方法の研究を求めるもの。

一全会一致採択
陳情書

今議会に、「飯田自治会190名」と「家庭の健康と命を守る会」より、飯田地区に予定されている、太陽光発電施設建設の中止を求める陳情書が出された。
一議場配布

車両事故1

内容 足白小学校を改修したボルダリング施設通称kウオールの駐車場のこう配が急だったため、進入した車両の前部エプロン部分を破損した。

賠償額	5万3730円
日月	平成30年4月14日
割合	嘉麻市100%
採決	全会一致承認

地域雇用創造計画

雇用促進・特産品開発・観光促進を図る

事業概要

食品業分野、観光分野を重点にする。地域産品を活かした特産品やレシピ開発、自然を活かしたツーリズムの開発等を促進し、人材育成と雇用創造を目指す。

具体的内容

- ・企業と求職者に情報提供、相談会開催
- ・観光体験開発事業
- ・九州最大級のボルダリング施設、自然・史跡・観光地点等を活用したスロージョギング等の運動

と、食や体験によるツアーの開発を行う。

- ・特産品開発事業
- ・特産品の果樹等を活用し、オリジナルブランド化と、スイーツ等のレシピ開発を目指す。

効果 2020年末までに72人の雇用創出目標

予算 1億543万円

車両事故2

内容 稲築東小学校駐車場で、教育委員会のワンボックスカーが相手方車両後部に接触した。

賠償額	15万7816円
日月	平成30年10月14日
割合	嘉麻市100%



絵 熊谷レン



絵 熊谷レン

公共施設見直し計画

サルビアパークプール解体し武道館建設
 温浴施設「白雲荘」は用途廃止・解体

市民説明会・議会審議を経て決定

分類	施設名	方針	方向性	2016年度 利用人数	2014年度 対比(%)	
体育館	稲築体育館	用途廃止・解体	再活用	30,164	130	
	大隈体育館	用途廃止・解体	再活用	9,906	143	
	宮野体育館	用途廃止・解体	再活用	2,824	129	
	千手体育館	用途廃止・解体	再活用	2,607	93	
	泉河内体育館	用途廃止・解体	再活用	1,050	117	
	嘉穂総合体育館	維持・改修		48,568	122	
	サルビアパーク(体育館)	維持・改修		84,972	92	
プール	旧稲築プール	解体	再活用	—	—	
	旧嘉穂プール	解体	再活用	—	—	
	山田いこいの家「白雲荘」プール	解体	再活用	—	—	
	サルビアパーク内プール	用途変更	武道館に改修	43,059	82	
	温水プールスイミングプラザなつき	維持		95,012	113	
武道館	旧嘉穂テニスコート	解体	再活用	—	—	
	山田武道館	用途廃止・解体	一部機能移転	2,131	89	
	稲築武道館	維持・改修		10,885	101	
	山田弓道場	移設		135	53	
野球場	山野運動公園内野球場	用途廃止・解体	再活用	9,649	94	
	碓井野球場	用途廃止・解体	再活用	7,435	68	
	嘉穂野球場	用途廃止・解体	再活用	7,901	59	
	稲築野球場	維持		8,529	97	
	山田野球場	維持		5,568	68	
	碓井グラウンド	用途廃止・解体	再活用	5,158	134	
グラウンド・競技場・運動場	大隈グラウンド	用途廃止	再活用	2,832	159	
	宮野グラウンド	用途廃止	再活用	3,170	194	
	千手グラウンド	用途廃止	再活用	2,522	127	
	泉河内グラウンド	用途廃止	再活用	0	0	
	山田友愛グラウンド	維持		10,356	115	
	鴨生公園内運動場	維持		5,762	97	
	稲築町政40周年記念運動広場	維持		1,055	48	
	嘉穂総合運動公園嘉穂陸上競技場	維持		18,923	110	
	稲築運動場	維持		5,996	171	
	山田市民センター(大橋分館含む)	用途廃止・解体	再活用	7,572	90	
	市民センター・文化ホール	上山田住民ホール(上山田分館含む)	用途廃止・解体	再活用	3,567	79
なつき文化ホール		維持・改修		17,350	97	
下山田小学校白馬ホール		維持		8,789	112	
旧碓井青少年センター		解体	売却検討	—	—	
碓井母子健康センター		用途廃止	再活用	1,131	91	
稲築社会福祉センター		用途廃止・解体	再活用	18,206	96	
稲築母子健康センター・稲築住民センター		用途廃止・解体	再活用	4,618	91	
稲築保険センター		維持・改修		10,253	118	
山田ふれあいハウス		維持		10,597	92	
稲築庁舎別館4(旧稲築町労働会館)		用途廃止・解体	再活用	—	—	
嘉穂林業振興センター		売却		—	—	
温浴施設		稲築老人憩の家	用途廃止・解体	再活用	8,771	95
		山田いこいの家「白雲荘」	用途廃止・解体	再活用	63,824	106
		嘉穂老人福祉センター	維持・改修		24,601	93
	ふるさと交流館なつきの湯	維持		124,582	107	
校舎	旧千手小学校校舎	解体	再活用	15	100	
	旧泉河内中学校校舎	解体	再活用	—	—	
	旧宮野小学校校舎	解体	再活用	65	100	

スポーツ施設34、生涯学習施設(ホール等)4、旧小学校校舎3、民生施設9、その他3合計50施設の見直し計画が発表さ

れた。内訳は、用途廃止・解体29、改修7、移設2、用途変更1、売却1施設。見直し後は20施設にな

り、20年間で27億800万円の財政効果を見込む。この見直し計画は、確定事項ではなく、場合に

よっては市民説明会や議会審議を経て決定する。(全て財政課提出資料)

QRコード



見直しによる 財政効果	区分	2018年~20年間の施設維持管理経費		財政効果
		見直しなし	見直しあり	
	常にかかる管理経費 A	42億4700万円	28億3900万円	14億 800万円
	改修するための費用 B	27億3400万円	22億3900万円	4億9500万円
	国から交付される金 C	3億 700万円	11億1200万円	8億 500万円
	市の負担額 A+B-C	66億7400万円	39億6600万円	27億 800万円
20年間で27億 800万円の効果(年平均約1億3500万円)				